

しょだい あさしお たろう
初代 朝汐太郎 (1864~1920)



力士。大相撲大関。宇和郡八幡浜浦(現、八幡浜市)出身。本名は増原太郎吉。最初、大阪相撲の押尾川部屋に入ったが、その後、東京相撲の高砂部屋に入門して「朝汐」を名乗った。得意技は右四つ、寄り、上手投げで、明治26(1893)年に関脇になり、その5年後には、大関に昇進した。この時、かつて宇和島藩主であった伊達家から化粧まわしが贈られている。幕内での取り組みは、138勝76敗31分け12預り。引退後、年寄「佐野山」を襲名。引退後、年寄「佐野山」を襲名。「朝汐」もしくは「朝潮」の名は、代々高砂部屋のシンボルとなった。

略歴

元治元(1864)年11月28日	宇和郡八幡浜浦に生まれる。
明治14(1881)年	大阪相撲の押尾川部屋に入門
明治23(1890)年1月	東京相撲の高砂部屋に移る。
5月	入幕
明治26(1893)年1月	関脇に昇進
明治31(1898)年5月	大関に昇進
明治33(1900)年	愛媛で地方巡業を行い、八幡浜でも相撲興行をする。 その時、八幡浜に朝汐橋をかける。
明治41(1908)年1月	1月場所をもって引退。年寄「佐野山」を襲名
大正9(1920)年8月26日	57歳で永眠

(写真提供：増原朝太郎氏)

〈関連図書〉

- ・八幡浜市誌編纂会『八幡浜市誌』 八幡浜市 1987年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年

〈主な収蔵資料〉…(P233, 173~174)

〈ゆかりのある場所〉…(P319, 221)

〈関連施設〉…相撲博物館

〒130-0015 東京都墨田区横綱1-3-28(国技館1階) TEL: 03-3622-0366